

2つの数値目標の達成状況について

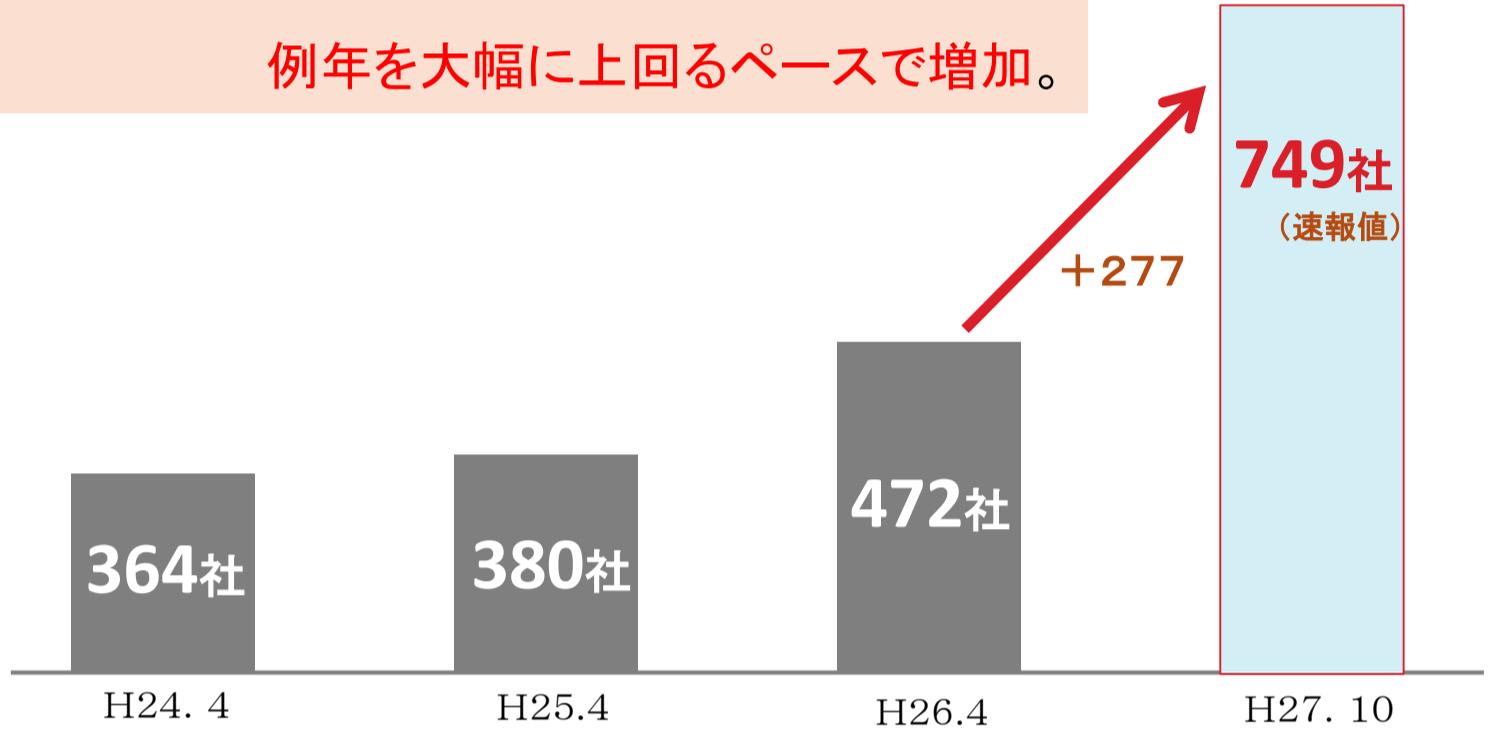
目標1

2020年までに刑務所出所者等の事情を理解した上で
雇用している企業(協力雇用主)の数を3倍にする。

基準値 472社(H26) → 目標値 1,500社(H32)

刑務所出所者等を雇用する協力雇用主の数が

例年を大幅に上回るペースで増加。



[主な取組]

刑務所出所者等就労奨励金支給制度の導入 (H27.4~)

出所者等を雇用した協力雇用主に対して、月8万円(最大で年72万円)を支給する制度を導入

刑務所等における就労支援の充実

社会のニーズに応じた刑務所等における職業訓練の充実に加え、ハローワークと連携した就労支援を強化

目標2

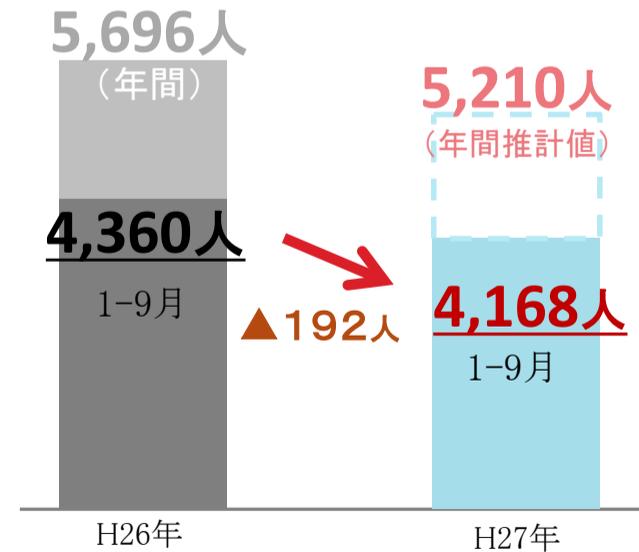
2020年までに帰るべき場所がないまま社会に戻る受刑者の数を3割以上減少。

基準値 6,368人(H25・年間合計) → 目標値 4,450人(H32・年間合計)

社会福祉施設や更生保護施設につながる者が増加。

約140人の居場所が確保。

	前年 1~9月 実績値	増減	H27年 1~9月 速報値
雇用主(住込み)	140人	+21	161人
社会福祉施設	262人	+48	310人
更生保護施設等	4,836人	+70	4,906人



[主な取組]

更生保護施設の受入機能の強化

帰るべき場所がない出所者等を受け入れる更生保護施設において、福祉的な支援を実施。(全国57施設)

司法と福祉の連携強化

矯正・保護・地域生活定着支援センター等の緊密な連携。